

# 特別活動（ホームルーム）指導案（1学年）

平成 27 年 11 月 18 日（水） 6 校時（14:30～15:20） 簿記室 指導者 古谷 正敏

## 1 題材名 「聴くことと話すこと」～コミュニケーションの基本を学ぶ～

## 2 題材観

本活動は、学習指導要領に示されているホームルーム活動の（2）適応と成長及び健康安全 オ「コミュニケーション能力の育成と人間関係の確立」にあたるものである。望ましい人間関係を構築するために、コミュニケーションスキルを磨くことが必要である。コミュニケーションが取れなければお互いに理解し合えなくなる。異年齢の人や異性など、多様な他者と場に応じた適切なコミュニケーションを図るためには、自己及び他者の個性の理解と尊重が大切だと考える。社会生活と学校生活を結び付けた体験学習を通して、コミュニケーションの基本を理解させる。

## 3 研修とのかかわり

本研修は実社会で求められる人材を実際に企業において体験し、自ら経験することで日頃の教科指導や特別活動といった教育活動に活かすことを目標として取り組んでいる。

本題材は、研修で実践した取材活動から得た知識をもとに、企業が求める社会人として必要なコミュニケーション能力の基本について指導する。「自分も相手も尊重する人間的な関わり合い」「自分の考え、気持ちを適切につかみ、率直に伝えていねいに相手に伝える」「相手の話す言葉にも丁寧に耳を傾け聞く」など、自らの研修体験を題材として学校生活と社会生活を関連づけ、グループ学習を通して生徒に理解させる授業を展開する。

## 4 指導方針

- （1）長期社会体験研修を通して体験したことや感じたことを伝える。
- （2）教師と生徒、生徒と生徒などコミュニケーション活動を中心に展開する。
- （3）自分を大切にし、相手との関係作りをしっかりと行うためコミュニケーションの大切さやその表現方法を理解させる。

## 5 評価規準（事前の活動→本時の活動→事後の活動）

評価規準	集団活動や生活への関心・意欲・態度	長期社会体験研修を通して体験したことや感じたことを聞くことを通して、社会で必要なスキルについて関心を持っている。	
	集団の一員としての思考・判断・実践	社会が求める人材について判断し、発信や受信の演習を熱心に取り組んでいる。	
	集団活動や生活についての知識・理解	自他の理解と尊重を踏まえたコミュニケーションについて理解している。	
時間	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
	知識・理解	思考・判断・実践	
本時の活動	・新聞社についての理解 ・仕事における組織の理解	・組織の中で働くときや取材をするにあたり、様々な人たちとよい関係性を意識したコミュニケーションを図る力 ・自他の理解と尊重を踏まえたコミュニケーション力	・教師の研修の話聞く ・自他の理解と尊重を踏まえたコミュニケーションを学ぶ演習

## 6 本時の学習指導

- (1) 目標 聴くことと自他尊重の表現方法を活かすコミュニケーションを学ぶ  
 (2) 準備 【教員】資料、プレゼンテーションソフト、ワークシート 【生徒】：筆記用具  
 (3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価) (ゴシックはキャリア教育とのかかわり)
<p>&lt;導入&gt;</p> <p>1 新聞社の仕事について理解する。          2 研修で行ってきた活動を見る。          — 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞社の仕事について理解する。</li> <li>・4月からの活動について理解する。            「何を私たちに伝えたいのか」</li> <li>・仕事に対するやりがいや責任感。</li> <li>・仕事に必要なことは何かを考える。</li> </ul>	15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを配る</li> <li>・会社の授業内容や4月からの活動について資料やプレゼンテーションソフトを使って説明する。</li> <li>・本時のねらいを意識させ、仕事に必要なことを理解させる。</li> <li>・新聞社で働くことで学んだことを中心に伝える。</li> <li>◇新聞社の役割や働く人の思いについて関心を持っている。</li> <li>・組織の中で働くときの関係性を意識したコミュニケーションの取り方。【人間関係形成力】</li> </ul>
<p>&lt;展開&gt;</p> <p>1 アンケートや取材を通して感じた人間関係の作り方で大切なことについて理解する。          — 予想される生徒の反応 —          「何を私たちに伝えたいのか」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人間関係の作り方で意識しなければならない大切なこと。</li> </ul> <p>2 記事を見せ、相手に関心を持つことが大切であると説明を受け、ワークシートに書き込む。</p> <p>3 記事を見せ、話を聴くことが大切であると説明を受け、ワークシートに書き込む。          — 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーションの基本とは何か</li> <li>・私たちが身に付けるものは何か</li> </ul> <p>コミュニケーションの第1歩は相手に関心を持つこと、話を聴くことの大切さを理解させる。</p> <p>4 例題をワークシートに、自分の気持ちを率直に表現する言葉を書き込む。場合によっては隣の生徒と相談する。</p> <p>5 指名された生徒は自分の答えを発表する。</p> <p>6 (1) 3つの表現方法を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手だけすっきり</li> <li>・自分だけすっきり</li> <li>・自分も相手もすっきりする</li> </ul>	30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレゼンテーションソフトを使って説明する。</li> <li>・ワークシートに記入させる。</li> <li>・取材をするにあたり、様々な人たちとよい関係性を意識したコミュニケーションの取り方。【人間関係形成力】</li> <li>・取材したときの例を挙げてコミュニケーションの基本である相手に関心を持つことを説明し、ワークシートに書き込ませる。</li> <li>・取材したときの例を挙げてコミュニケーションの基本である聴き方について説明し、ワークシートに書き込ませる。</li> <li>◎コミュニケーションの基本は、相手に関心を持つこと、話をしっかりと聴くことであることに気付かせる。</li> <li>・他者の意思を的確に理解する。【人間関係形成力】</li> <li>・率直に思った表現で答えさせる。</li> <li>◎思いつかない生徒に指導助言する。</li> <li>◇社会が求める人材について判断し、発信や受信の演習を熱心に取り組んでいる。</li> <li>・3つの表現方法をした時の気持ちを考えさせる。</li> </ul>

<p>(2) 教師の説明を聞き、表現方法の違いによる感じ方を考える。</p> <p>— 予想される生徒の反応 —</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分も相手もすっきりする表現方法がある</li> <li>• 表現方法が違うとお互いが気持ちいい</li> <li>• 表現方法で感じ方が違う</li> <li>• 自分も相手も大切にす表現方法が必要</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>• 自分の考え、気持ちを適切につかみ、率直に ていねいに相手に伝えることを理解させる。</li> </ul> <p>◇自他の理解と尊重を踏まえたコミュニケーションについて理解している。</p>
<p>&lt;まとめ&gt;</p> <p>本時のまとめから社会人に必要なことを感じ、 今までの自分とこれからの自分を共有させ、今ま でできていた生徒は、さらに向上させるため にはどうやるか考え、できていなかった生徒は今か らでもできることを感じる。</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 今生徒がどんなことに力を身に付ければよいかを説明する。</li> <li>• ワークシートを提出させる。</li> </ul>